モバイルワールド （MWG）

New-S Wealth Management

《企業紹介》

同社は小売業でベトナム最大の企業グループである。スマートフォンなどのモバイル情報機器を販売するテーゾイジードン（TGDD）、家庭用電気製品を販売するデイエンマイサイン（DMX）、ベトナム南部を中心に小型食品スーパーを展開するバックホアサイン（BHX）の 3 つの小売チェーンを中心に小売業を展開している。近年では医薬品小売事業（アンカン）やマタニティ用品（アバキッズ）へ進出するなど、業態の多角化にも積極的に取り組んでいる。なお、2026 年 8 月に DMX がホーチミン市場に株式を公開した。

《2026 年 4－6 月期業績》

2026 年 4－6 月期の売上高は前年同期比 29.6%増の 48.7 兆 VND（ベトナムドン）だった。所得水準の向上による中間層の購買意欲増進によって情報機器や家電製品などの耐久消費財の需要が増加したことに加え、分割払いなどの支払方法の多様化に取り組んだことが市場シェア拡大に繋がり、TGDD と DMX 合計の売上高は同 29.8%増の 32.6 兆 VND となった。BHX を中心とするその他事業の売上高は同 30.1%増の 16.1 兆 VND となった。BHX の店舗数を同 46.1%増の 3,191 店舗に増やすなど、積極的な出店攻勢をかけて増収を達成した。

粗利益率は同 2.1%ポイント上昇の 22.2%となり、粗利益は同 42.8%増の 10.8 兆 VND となった。TGDD と DMX の店舗数は前年同期比でほとんど変わらず、店舗当たりの売上高が増加したため、店舗の生産性向上が一段と進んだとみられる。以上のような収益力の強化が、その他事業の先行投資負担を吸収し、粗利益率を押し上げたと考えられる。販売費が同 27.2%増の 5.9 兆 VND、一般管理費が同 9.6%増の 1.3 兆 VND と抑制的だったことに加え、金融収支の受取超過額が前年同期の 3,664 億 VND から 5,043 億 VND に増加したため、税前利益は同 98.8%増の 4.0 兆 VND へ大幅に増加した。純利益は同 100.4%増の 3.3 兆 VND となった。TGDD と DMX の好調持続による業績拡大が続いているうえ、その他事業の BHX、アンカン、アバキッズも店舗数の拡大に乗り出し、新たな成長のシーズの育成も積極的に進め始めている。

図表1　四半期業績の推移　（単位　十億VND）

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）
売上高	37,620.0	10.2	39,852.5	16.7	42,320.7	22.4	46,462.0	28.6	48,751.3	29.6
粗利益	7,568.7	3.6	7,478.2	8.5	8,754.6	32.9	9,710.1	34.9	10,809.2	42.8
粗利益率%、%ポイント）	20.1	-1.3	18.8	-1.4	20.7	1.6	20.9	1.0	22.2	2.1
金融収支（マイナスは収入）	-366.4	-	-398.3	-	-445.9	-	-436.1	-	-504.3	-
販売費	4,703.3	-7.0	4,570.8	-5.7	5,653.8	10.4	5,284.9	20.0	5,980.3	27.2
一般管理費	1,201.7	47.7	1,119.4	15.7	1,060.4	15.7	1,523.2	25.4	1,317.5	9.6
税前利益	2,028.2	33.8	2,172.4	103.4	2,497.9	141.2	3,327.6	72.0	4,033.0	98.8
純利益	1,648.1	40.6	1,770.9	121.3	2,068.8	144.2	2,714.4	75.6	3,302.5	100.4

注　2025年10-12月期の数値は監査済み決算をもとに計算したものである
出所　各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より 180 日　　News20260821
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

モバイルワールド （MWG）

New-S Wealth Management

《株価の動向》

図表 3 は同社の株価と VN 指数の 2025 年末終値を 100 として指数化したものである。同社の株価は概ね VN 指数と連動して推移してきたが、4 月下旬以降はアンダーパフォームが顕著になっている。株式市場全体が調整したことに加え、8 月 6 日に株式を公開した DMX の人気が低調だったことが株価の調整を促したとみられている。

8 月 20 日時点の 2025 年末比変動率は VN 指数が 3%の下落となっているが、同社が同 18%の下落となっている。8 月 20 日終値 72,700VND で計算した同社の時価総額は 107.2 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期の純利益実績 7.0 兆 VND の 15 倍となっている。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

同社は、2026 年 12 月期の売上高を前期比 18.2%増の 185 兆 VND、税引後利益を同 30.0%増の 9.2 兆 VND と計画している。1－6 月累計実績の進捗率は売上高が 51%、税引後利益は 66%となっており、計画の進捗は順調といえるだろう。一方、その他事業の BHX、アンカン、アバキッズが出店攻勢に転じているが、競合他社との差別化のポイントなどを確認し、成功の道筋を慎重に確認する必要があるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会
主な事業　金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日　News20260821

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。